

苦情・要望 内容 報告

月/日	苦情・要望の内容	お答え
H24・2	発表会の場所をスコレーにしてほしい	これらにつきましては、それぞれの要望に沿えるように、出来る範囲内で対応させて頂くこととしました。
H25・6・上旬	お昼寝の時間を短くしてほしい	
6・中旬	土曜靴の中身を確認してほしい	
	保育参観時の駐車場の止め方を先に教えて欲しい	
	平日の行事を減らしてほしい	
	夏は裸足ですごしたらどうか	
	カレーの日のご飯不要を連絡して欲しい	
	途中入所の保護者に配慮してほしい	
7月9日	泥んこ遊びの時は、裸にしてほしい	
7・上旬	箸箱の片づけのチェックをしてほしい	
8・中旬	お昼寝の時間を更に短くしてほしい (1時間位)	
9月24日	子どもへの注意の仕方を否定形ではなく肯定形で言ってほしい	
9月25日	お昼寝の時間をもっと短くしてほしい (30分位)	
4・20	年度末の忙しい時期に、水回りの工事を入れたのはなぜですか？	工事を決めたのが遅くなってしまったのがありますが、そこしか空いていなかったのでもそで行いました。
	感染症にかかった兄弟がいると、少しの熱でも、帰されるのは困る。	発熱時の対応について、おたよりを出して再度確認しました。下痢やおう吐、感染症についても、全体で意識を統一出来るようにおたよりに記載しました。

平成25年5月

保護者各位

柏保育園長 丸山 美智子

疾病時の保育について

過日の保護者会総会において頂戴いたしましたご意見から、感染症が流行した時の保育士の対応等に誤解を招くような行き違いがみられたようですので、発病時の対応について保育者及び保護者の皆様と原則を統一するようしていきたいと思っております。感染症拡大を防ぐためにいろいろな場面でご協力をいただきましたが、ご負担をおかけする場面もあったようです。皆様のご協力のおかげで、前年度、インフルエンザはクラス閉鎖等までいかないで抑えられましたが、水疱瘡がご兄弟の赤ちゃんにまで広がってしまい、大変申し訳なく思っております。ノロウイルス、インフルエンザなど小学生から持ち込まれることが多く、感染症は体力のある大きな子は重篤になりませんが、小さな子やお年寄りには大敵です。流行時には家族の様子なども含めてご連絡いただき、可能な範ちゅうでご協力をお願いいたします。

保育園は子どもの育ちの援助と働く保護者の皆様の支援する使命を担っていますが、基本的には集団生活が可能なお子様をお預かりする施設であり、当園は看護師などを常駐させ病児病後児保育・体調不良児保育などを行なえる施設ではありません。（延長保育を2時間以上すること、職員看護師を専門に配属すること、専用スペースを設ける事・・・などの難しい要件があり、やりたいと思っても出来ないのが現状です。）実際には体調不良のお子様をしばらくはお預かりしていますが、病気に対する専門の知識を持った職員が勤務していませんので、対応が困難です。病気及び回復期は、子どもが一番安心できる御家族の下、あるいは専門家のいる病児病後児保育を行っている施設で保育をすることになります。入園なさる時に説明させていただいておりますが、病気の時に預かっていただける人や施設を確保するようにしておきましょう。甲府市にも病児保育のいろいろな支援制度がありますのでご活用ください。パンフレット等がありますのでご相談ください。

発熱時等の連絡について・

37度5分を超えた場合（平熱を1度超えた場合）違う体温計で2度検温します

- ・食欲・機嫌等の様子が良好な場合は保護者の方に様子をお伝えし、保育園で保育を継続します。熱が上がってきたり状態が悪くなってきたりするようであれば、お迎えをお願いする連絡を入れます。
- ・園で感染症が流行っている、又は家族に感染症罹患者がいる場合は、感染している可能性が強いのでお迎えをお願いします。
- ・感染症の可能性がある場合やほかの子どもたちと同じ活動ができない場合は事務所で休息しお迎えを待ちます。

38度を超えた場合

- ・何かしらの病気であることが考えられますので、速やかなお迎えをお願いします。医師による診断治療を受けましょう。
- ・翌日、薬によって解熱していても病気が治っているわけではありません。集団活動には無理がありますので、ご家庭で療養するか病児保育などを利用しましょう。

下痢をした時

- ・熱や機嫌・食欲などがあれば様子を連絡したうえで、園で様子を見ます。（0.1歳児は状況によりその限りではありません。）微熱がある・機嫌がいつもより悪い・2度以上軟便・水様便が出る場合は胃腸炎等が考えられますので、お迎えをお願いします。

病院で「お腹の風邪」「感染性胃腸炎」「ウイルス性胃腸炎」だろうといわれた場合は、ひろく感染するもので、検査は費用や時間がかかるのでしませんが、ノロウイルスの場合がほとんどです。普通便が確認されるまで自宅で療養し、2次感染を防ぎましょう。

嘔吐した時

- ・嘔吐した場合は、本人はその場で着替え等を行い、職員は感染防止の身支度をして、塩素系ハイターで消毒をし、周りのお子さんは他のクラスに避難します。給食中なら飛散している可能性のある周りのお子さんは食事を中断し廃棄になります。嘔吐後は水分や食事の摂取が難しくなりますので、お迎えの連絡を入れます。

感染性かどうかの判断が難しいので、明白な場合以外はすべて同じ処置を行います。

す。再度吐いて広がる可能性があり、事務所では給食室感染が危惧されますので、保育室で担当保育士とお迎えを待つようになります。

インフルエンザに罹った時

- ・熱が下がっても感染力がありますので、解熱後3日経過し、医師の証明を得て登園してください。

インフルエンザかも

- ・予防接種を受けていると症状が軽く1日目ではインフルエンザ反応が出ない事があり、翌日陽性になった事例があります。罹患していないと思って登園し、罹患していると大勢に広げることになります。軽くても症状があったら家庭で様子を見るか、念のため翌日も受診し罹患していない事がはっきりしてから登園してください。
- ・発症前24時間と発症後3日間で感染力が最も強い期間です。ご家族に罹者がいる場合、ちょっとした変化にも留意しましょう。

ご兄弟が罹患しても、園児に症状がない場合は登園してもかまいません。

接触が多く感染の可能性が強い場合、ご家庭で保育が可能な状況があれば一緒にお休みしていただくとありがたいです。(潜伏期間は1～3日です)

インフルエンザ集団感染

- ・概ねクラスの2割が罹患した場合、感染拡大防止のためにクラス閉鎖を行うことがあります。登園後、メールにて発信しますので、クラス全員速やかなお迎えをお願いいたします。

ノロウィルス集団感染

- ・下痢や嘔吐、腹痛などの症状でお休み、又は症状のある園児合わせて10名を超えた場合、保健所に届け出、新聞等に掲載されます。お休みしていた子、症状のある子、職員の検便が保健所により実施され、感染ルートの確認が行われます。食中毒等の結果が出るまでは給食は調理できませんので、お弁当持参になります。

ウィルスは長く排出されますので、2次感染防止に努めます。